

## 家庭学習の手引き（デジタルドリル活用編）

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、保護者の方にもご協力いただきながら実施している家庭学習は、児童にとって、「自分のための学び」となることが大切です。

そこで、本校ではこのほど、そういった学びにするために、「家庭学習の手引き」（デジタルドリル活用編）として以下のようにまとめました。

各家庭におかれましても、ぜひ参考にして、家庭学習の充実に活かしていただきますようよろしく願いいたします。

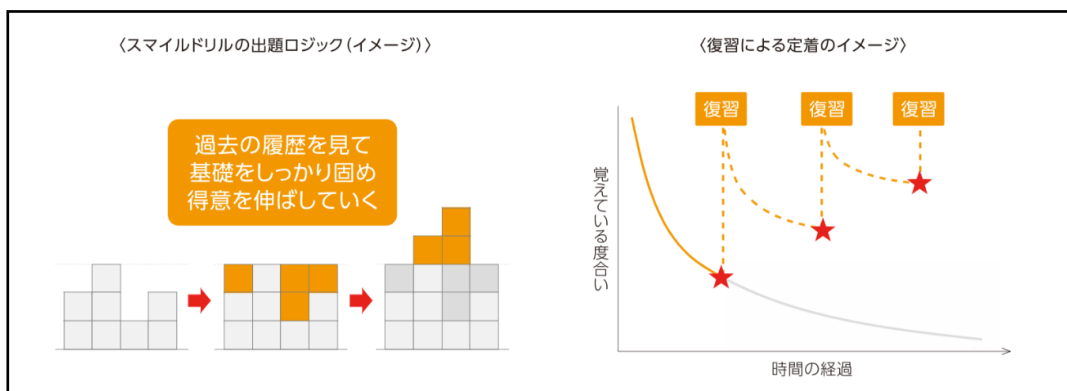
### 1 デジタルドリルとは

本校で今年度使用しているデジタルドリルは、学習クラウド「スマイルネクスト」に搭載されているデジタル教材です。教科書準拠の問題が小学5教科で約28,000問〔国語／算数／理科／社会／英語（外国語）〕と、中学校9教科で約16,000問が利用可能となっています。

詳細については、下部のQRコードをご覧ください。

### 2 デジタルドリルのよさ

- 【自分のペースで学べる】：わからない問題は何度でも繰り返し学習できます。  
AIが一人一人に合わせた問題を選ぶこともできます。
- 【すぐに結果が分かる】：自動採点だから、答えたらすぐに得点や正誤がわかります。  
間違いを見直しながら学習する習慣が身に付きます。



スマイルドリル HP

### 3 家庭での基本的な取り組み方

デジタルドリルは、「宿題」＋「自主的な学習」として活用します。

- 学校で学習した内容の復習
- 少し苦手な内容の繰り返し練習
- 「やってみたい」と思った問題への挑戦

苦手な単元は前の学年にさかのぼって学習したり、得意な単元は上の学年の問題にチャレンジしたりすることもできます。無理のない時間で、毎日の学習習慣につなげていきましょう。

### 4. 保護者の方へのお願い

デジタルドリルは、子どもが「自分で考え、学ぶ力を育てるためのツール」です。

操作や採点が自動で行われますが、学習を「任せきり」にするものではありません。

- お子さんがどのような内容に取り組んでいるのか、学習の様子を確認してあげてください。
- できているところやつまずいているところに気づいたときは、声をかけたり、一緒に考えたりしてみてください。
- 結果だけでなく、取り組む過程や努力を認めるような関わりが、学習への意欲や自信につながります。
- つまずきやすい所やご不明点がありましたら、ご気軽に連絡帳等で学校に相談してください。
- 来年度は全市的に公費で別のデジタルドリルを購入し、利活用していくこととなります。基本的な機能やよさは変わりません。導入され次第、ご紹介していきますので予めご承知おきください。
- 学習の内容によっては、紙による学習との併用や選択を行っていますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【担当】ICT学力向上担当

主任教諭 戸塚 佑樹

電話 042-524-3148



# 家庭学習の 4つのポイント



POINT  
**1**

“自分から”  
学習できるように



POINT  
**2**

親子で“ルール”  
を決める



POINT  
**3**

宿題 + 自主学習で  
学力アップ



POINT  
**4**

“勉強”と  
遊びにメリハリを

